



令和8年度 SSH 生徒研究発表会(神戸)に参加しました！

8月5日(水)～8月6日(木)にSSH 生徒研究発表会が神戸国際展示場にて開催されました。この発表会は日本全国のSSH 指定校等の代表生徒が集結し、日頃の課題研究の成果を発表するイベントです。令和8年度は239校がポスター発表を実施しました。本校はSuper Principiaから3年4組河野 隼佑さん、長谷川 渉晴さんが出場し、見事「**👑ポスター発表賞👑**」を受賞しました。これは全国13位タイという好成績で、横須賀高校では5年ぶりの快挙です！また、見学団として2年生1名が参加しました。発表した研究内容は以下のとおりです。

【タイトル】

「標本種子と生息予測モデリングを用いた地域絶滅種の復元」

【アブストラクト】

本研究では、植物標本に付随する種子(以下、標本種子)に着目し、発芽・生育可能性の検証と新たな生育敵地の推定を行った。その結果、一部の標本種子で初期生育が確認された。また、モデリング及び現地調査によって地域絶滅種であるウラボシ科の新たな生育敵地を確定できた。以上より本手法は他種にも応用可能な、地域絶滅種の野生復元の新たな手法として活用できる可能性が示された。

✿ 参加した感想、学んだこと ✿

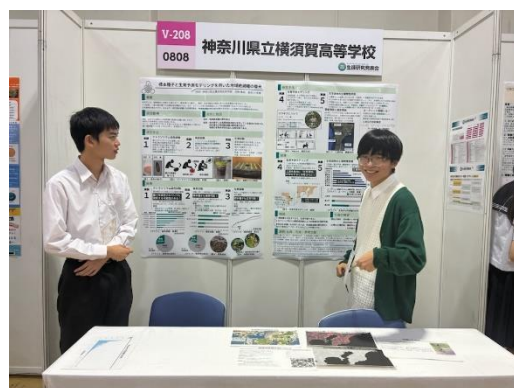
Q：発表に向けて準備したこと

限られた発表時間でも研究の流れが伝わるよう、ポスターの構成や図表の見せ方を工夫し、簡潔に伝えることを心掛けました。また、聞き手の立場で内容を見直し、より分かりやすい発表になるよう改善を重ねました。

Q：後輩へ一言

研究では、思うように結果が出ないこともあります。しかし、その過程で得られた発見や疑問には、研究としての大きな価値があると思います。粘り強く研究を続け、最後には研究を多くの人に発表してほしいです。

3年4組 河野 隼佑



Q：会場の様子

会場は広く、大人から子供まで多様な来場者で賑わっていました。多くの発表があり活気にあふれる中、参加者はそれぞれの発表を集中して聞いていました。

Q：他校の発表を聞いて

それぞれの学校の発表は、発想が非常に柔軟で、興味深いものばかりでした。発表を聞いてみると、実社会での活用を視野に入れた研究が多くあった点が印象的でした。

Q：発表した感想

最初はとても緊張していましたが、発表を続けるうちに、次第にほぐれ、スムーズに話せるようになって嬉しかったです。また、様々な方から、研究に対するご意見をいただくことができ、心より感謝しています。

3年4組 長谷川 渉晴



Q：参加した感想

今回の研究発表会では、全国のSSH 指定校のハイレベルの研究を見ることができてとても学びになりました。様々な実験を試み、試行回数を積むことにより、発表の説得力を厚くすることが研究において重要だとよりいっそう感じました。今回はこのような貴重を用意してくださりありがとうございました。

2年7組 鈴木 悠斗